

# 「家がいいね」 第77号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2010. 10. 6

そらみたか？

9月中旬まで続いた長い夏がようやく終わった。今年の秋は一気に押し寄せ、風情がある。日暮れも早く、夜の帰宅時に、どこからか漂う金木犀の匂いに出迎えられる。



疲れは出るものである。最近の私事では、一つ一つ仕事を片付けないと進行しなくなった。二つも三つも同時進行は苦しいのだ。表題のように（大風呂敷を広げて）「そらみたか」と言われそう。素直に体に従うしかない。

八方ふさがりの気分の際は、空を見上げるしかない。天だけは高く広がっている。青い空の上には、やがて漆黒の宇宙が広がり、星々の光が遙か彼方の過去から届く世界があると想像しよう。

高校生の私への父の言葉を思い出した。「背筋を伸ばして前を見て歩け」 そらみたか？

おひとり様はつらいよ

一人暮らしが長い方の在宅に関わることが増えてきた。

これは強い性格の人と思っても、先方からの話が長くなり、プライドを保つ姿勢の向こう



に寂しさがチラリと見える事がある。元々は人付き合いの嫌いな人ではないらしい。だが家族は居ても、の一人暮らしである。

私達に関わるのは、体の調子が悪い時からなのだが、不安などのつらさは訴えられても、身体をつらさは少ないように思える。体は必死に生きようとしているが、魂が悲鳴を上げているのかもしれないと思う。足りないものは、人と人の繋がりかもしれない。そう考えると、一緒に生活している人にも、意外に、おひとり様は多いのだ。

旅先から人恋しくて帰ってくる寅さんのために、情けのある世の中が欲しい。「それを言っちゃあ、お終めえよ」と言わささないようにしたい。

保険証が替わりました

国民健康保険の方など、一年に一度保険証の更新のあるかたは、9月末での切り替えになっています。10月からは、新しい保険証を提示してくださいますようお願いいたします。保険証は、7割、9割の医療費を支払ってくれるクレジットカードのようなものですから、確認が必要なのです。アメリカでは、この保険制度を作り上げるための苦闘が続いています。無保険の社会では、どれだけ病気を契機に生活崩壊が進むか、大きな不安になっているのです。日本の医療資源と保険制度、どちらも大切に無駄にしないように、考えてみてください。

インフルエンザワクチン

昨年は、季節外れの新型インフルエンザの流行で、ワクチン接種も混乱して大変でした。

本年は、新型インフルエンザも、季節性インフルエンザと同じような流行時期になると思われます。ワクチンもその2種類の混合で準備しています。伊勢市公報では、10月からの実施ですが、適切な接種時期は11月後半からだと思います。落ち着いた接種予約が出来ると思われるので、在宅患者さん以外の外来患者さんも、予約受付を開始しました。詳しくは窓口でご相談下さい。（電話での申し込みも可能です）

おしらせ がん患者のサロン 伊勢

毎月第3木曜日（次回10月21日）午後1時半  
当クリニックの隣の「縁（えにし）の家」にて

臨時休診 10月16日（土）全日

在宅の方の往診は代診医、あるいは訪問看護師での対応となります。よろしくご留意ください



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805

三重県伊勢市御園町高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

mail [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)

<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>